

5
—
1

1 (表紙)

寛政十二年申十月日

公辺向諸事控

大谷藤之丞勝意

2 (白紙)

3

一 親九右衛門儀当秋別而大病ニ罷成候ニ付

私江家督振替之願書差出置

則同苗藤兵衛相頼町奉行所江

差出置

一

親九右衛門養生不相叶十月四日申刻
致死去候、先達而家督振替之願書

差出置候得者早速村川市兵衛を以

4

御役所へ相届ル、尤御老役様へも

相届置ク、則御役人御家名左之通

村瀬新右衛門様

町奉行
山内右平様

村瀬庄左衛門様

伊丹十郎左衛門様

村瀬左源太様

5

一

家録魚鳥口銭之義者私へ続被仰付候迄ハ

村川市兵衛御預ニ被仰付候事

月々口銭之儀者下問屋黒田屋治右衛門并ニ

呉服屋清三郎右兩人御預ニ被仰付候事

村川市兵衛義者水揚之節見改計

且又、先年村川庄右衛門相果候節者

家録塩口銭私方御預ニ被仰付候ニ付

口銭にも取立内分ニ而村川手前へ相廻置事

6

此度中銭に者口銭にも村川へ御預ニ被仰付

思召候得者村川市兵衛不勝手者ニ候得者

家引込候而ハ私難渋罷成候義も可有之与

御推察被成、右之通被仰付候もの与

奉存候、尤去ル御屋鋪よりも御内分承り候ニ付

押^而村川預^ニ被仰出候様相願不申事
将又口錢之義も表向^者下問屋へ御預^ニ
被仰付候得^者下問屋共も口錢之義

7

御運手多胡武右衛門殿へ相調候處
随分大谷手前是非受取候もの^ニ候間
相渡可然様被申候^ニ付毎々相渡受取候事
十一月廿三日忌明^ニ付同苗藤兵衛を以
御役所へ忌明之趣相達候事、其後
藤兵衛を以急々家続被仰付被為下候様
相歎事

一

8

一 西二月二日七ツ時家督相続

被仰付候、則町年寄大谷藤兵衛
御書出持参致候事
則書付之写左之通

大谷藤之丞

其方儀御礼席魚鳥

口錢取等之儀被仰付候、尤

9

代替^ニ付只今迄被遣来候

口錢之内壹歩半御減少

被仰付候、依之上納壹貫

拾四目之儀^者從御上

御取作廻被遣候、猶又親九右衛門儀

度々此筋之願等差出都^而平常

不穩儀共有之候^ニ付此度被

仰付品^茂有之候得共其段^者

以御慈悲被成御宥免候

10

町家^{ニ而}も重立候者^者下々

善惡見及其風他^ニ押移

候事故兼^而心得^茂可有之

事^ニ候、其方儀^者万事心ヲ

付、諸事穩^ニ相心得御訴詔

等之儀^者不致下々^{ニ而}も何角
見習候様致勘弁相勤可申候
然ル上^者追々御評儀之品^茂

1 1

有之候旨被仰出候

繼目御礼ニ飛脚差出候ニ付、左之通相認ル

1 1 (上段)

一筆奉啓上仕候

御上様益御機嫌能被為遊

御坐恐悅至極奉存候、然^者今般

私儀御礼席先規之通并

魚鳥口錢取被仰付難有

仕合奉存候、乍恐右御請

御礼奉申上度以飛脚雁一羽

并ニ樽奉献上仕度奉存候

御序之刻乍憚宜敷様

御執成被遊可被為下候

1 2 (上段)

奉願上候、恐惶謹言

大谷藤之丞

月 日

牛尾五郎右衛門様 内外共々

東市右衛門様 片名

牛尾金右衛門様

1 1 (下段)

一筆奉啓上仕候

何様益御機嫌能被為遊御座

恐悅至極奉存候、然^者今般私儀

御礼席先規之通并ニ魚鳥口錢

取被仰付、右御請御礼奉

申上度、乍恐飛脚ヲ以

御肴一種献上之仕度存候

御序之刻乍憚宜様

御執成被遊可被下候

奉願候

1 2 (下段)

恐惶謹言

名判

月 日

御家臣様当テ

1 2 (上段)

一筆奉啓上候、未余寒節

御座候得共益御機嫌能

被為遊御座、恐悦至極

奉存候、然^者今般私儀

御礼席先規之通并^ニ

魚鳥口錢取被仰付

難有仕合奉存候、右

1 3 (上段)

御請御礼奉申上度

以飛脚但シ三拾匁位音
物 外ニ肴一種

奉進上之仕候、猶奉期

後喜之時候、恐惶謹言

名判

月 日

御老役様

御用達并<sup>ニ裏判
右ニ順シ文通</sup>

音物之儀^者其節世話之模様^ニより

高下も有之ル其外出入門へも

及文通候事、尤裏判^ニ遣文意

順不動、付たり御請御礼と申文言ヲ

1 4 (上段)

抜キ御吹聴申上度、依^而御肴一種と致シ
可然

1 2 (下段)

一筆奉啓上候、先以余寒之節御座候へ共
益御機嫌被遊御座恐悦奉存候
然^者今般私義亡父跡御礼席先規
之通并^ニ魚鳥口錢取被
仰付難有仕合奉存候、併私共
繼目之儀^者先規より其御地へ
罷出御請御礼等申上來候^ニ付

13 (下段)

御願申上候処御時節柄故御差留
被遊以飛脚御礼申上候、尤出府
御差留被遊候儀此已後儘例^ニハ不相成旨
被仰出候間、折を以参上仕御窺
申上度奉存候、此段乍憚御序之刻
宜様御執成被遊可被下奉願上候
随^而輕少之義奉存候得共御肴一種
進上之仕候、御笑納被遊可被下候
恐惶謹言 名判

月 日

御十家御家臣中^江

14

米子表勤門

御老役三人^{音物}三拾目
位^{外ニ}樽肴

御町奉行御両人^{音物}廿
位^{樽肴}

村河氏^者無役^{ニ而}も肴樽差出ス事

附たり裏判兼勤^{ニ而}
壺軒分勘略^ニ成ル

大目附^{音物}拾
位^{樽肴}

15

御老役之御家臣肴一種

町御奉行之下代肴一種

御下目附両家^{二本入}
壺箱計

一 御筆頭御両家家続吹聴として罷出事

樽肴持参之事
1
6
(白紙)